

まちの「今」をお届けします



包括連携協定調印式  
左から古川副市长、藤田市長、岡理事長、権丈専務理事



B



タイムトライアル



川本選手への質問タイム



選手とハイタッチ



C

## パラサイクリング日本代表チームを応援しよう！ 今年もパラサイクリングによるまちづくりが始動

市では山陽オートレース場をパラサイクリング日本代表チームの練習場として提供し、市を挙げて同チームを応援しています。6月27日～30日の合宿中には協定調印式や交流事業を行いました。

パラサイクリングについて詳しくは  市ホームページをご覧ください▶

### 【A包括連携協定調印式：6月28日】

東京2020パラリンピック終了後においても、日本パラサイクリング連盟との連携を継続し、「パラサイクリングによるまちづくり」を実践していくため、包括連携協定を市役所で締結しました。藤田剛二市長は「地域との交流などを通し、これまで以上に良好な関係を築いていきたい」と話し、同連盟の岡泰宏理事長は「障がいのある人にとって住みやすいまちづくりを一緒に進めていきたい」と話しました。

### 【B合宿の様子】

川本翔大選手、藤井美穂選手、福井万葉選手ほか2選手が参加。気温40度を超える走路内で、200mバイクダッシュや15kmタイムトライアルなど、ハードなメニューに取り組みました。

### 【C有帆小学校との交流：6月30日】

合宿最終日、有帆小学校5年生19人が東京2020パラリンピックで日本代表監督を務めた権丈泰巳専務理事や選手と交流。タンDEM自転車(2人乗り自転車)を体験した児童は「後ろで目を閉じたら最初は怖かったけど、前の人を信じることで楽しく乗ることができました」と話しました。また、選手への質問タイムでは、「自転車に乗っているときに、片足でどうやってバランスをとっていますか」「目標はありますか」などの質問に選手たちは笑顔で答えていました。